

世帯数 6月末の人口

新農業委員決まる

三 公選は再び定数を割る

- 公選による委員
笛岡金次・笛岡武治・伊吹茂幸・清岡勉
- 北岡一雄・清岡寿幸・清岡津富・田中栄
- 尾谷利晴・畠中住龜・門田整
- 議会推薦委員
- 農業協同組合推薦委員
門脇武志
- 農業共済組合推薦委員
岩城明信

十五日の組織会で、会長に畠中住龜さんが再選。会長代行に清岡寿幸さんが選ばれました。なお、七月十四日に行われた同委員選挙は立候補者が前回の選挙（昭和五十年）につづき、定数（十名）に満たず、無投票で八名の当選が確定しました。

このほど、高知営林局長が文替進正輝、新局長が七月十三日着任され、弓削晃、前局長と共に行なった記者会見のものだが、七月十四日付高知新聞「経済ロビー欄」に次のように紹介された。

は、「国は本年度中に全国各局」と
とに一署を統廃合する方針で、高
知局も一署削減することになります。
す。八月になるとわかるでしょう。
」と意外に署名の最終決定、発表
が早いことを示唆。また削減の一
つの目安として①同一市町村に二

営林局長発言 8月に署名発表?

馬鹿流尻廢合でシ初交渉シ
當進高知
馬路村へあいさつ

署以上にある②一署が隣接市町村にいる。ある③事業量が落ち込んでいる。ことなどを具体的に挙げた。これでゆくと、うわきに上っている安芸郡馬路村内の二署、なかでも馬路署は条件にピタリ? だが、記

者団の追及には『いずれにしても地元と十分話し合い、理解と協力を得るよう努力したい』と言葉を濁した』（以上原文のまま）

〔奈半利〕十三日に着任した進正輝・高知営林局長が十八日、安芸郡馬路村へあいさつに訪れた。この日、同局長は奈半利、田野など中芸地区的関係先を午前中に回り、午後“問題”的馬路入り。『営林署統廃合阻止村民会議』の役員ら十五人に『国有林野事業会計は本年度、四千億円のうち一千億円を財政投融資や一般会計から借金に頼っている厳しい情勢だ。まさに“曲がり角”に来ているとあってよく、一日も早く健全化を図り国民の負託にこたえたい』と通り通りのあいさつをした。

立てもらいたい。赤字だからといって乱伐は大きな迷惑であり、バランスのとれた輪伐形式を実施して欲しいと述べ、回答を求めた。これに対し同局長は『統廃合問題は現在最後の詰めをしており、まだはつきり言える段階ではない』と前置きし①来年一月一日より農林省設置法改正案が実施されるので、これに歩調を合わせよう八月上旬ぐらには署名を明らかにしたい。その後、住民の理解を得るよう接触を続ける②長伐期計画は局内でも前向きに検討し、施業方針を決める—と答えた。

①八月上旬に統廃合の営林署名の発表がされると聞いているが、馬路村では村民挙げて絶対阻止するつもりだ。過疎に苦しんでいる特殊事情を考え、見切り発車を絶対しないよう要請する②将来の展望に立ち魚梁瀬杉の長伐期計画を

今後の動向が注目される両者の「対面」は、こうしてわずか十五分ほどで終了、そのあと局長一行は魚梁瀬營林署へ向かつたが、村民会議では、目新しい発言がなかつたことから『八月の発表を見て対応手段を考えてみたい』と話している。(以上原文のまま)

大幹線林道

大木屋小石川線開通

千本の杉の香運ぶ

とわの道



(⇒記念碑)

大幹線林道大木屋小石川線は、海南町大木屋と、魚梁瀬小石川を結ぶもので、本村側が昭和四十三年度着工、延長七千六十五尺、事業費五億九千八百五十六万一千円、海南町側が昭和三十一年度着工、延長一万七千五百二十尺、事業費十一億二千九十五万二千円を要して、各々本年三月に完工したもので、六月二十四日、県境にある大木屋小石川隧道（三百四十尺）の徳島県側で、林野庁土木専門官、隣接町村、その他村内外の関係者約八十名が出席、開通式を行いました。

この道路は、単に林道としての役割ばかりでなく、中芸と徳島県との連絡の道である。



(⇒点線が完成した路線)
南部を結ぶ最短コースとして、観光その他文化、経済など多角的な効果が期待されており、特に、今まで袋小路のような奥地に位置していた魚梁瀬地区にとって、未舗装とはいっても、隣県へ抜ける車道ができたことを大歓迎。早く県道、

国道への昇格を望んでいます。

なおこのほど、完工を記念して、地元選出の平山公敬県議選文による「千本の杉の香運ぶとわの道」の記念碑が隧道入口に建立されました。

(注)「とわ」＝「永遠」の意味であるが、土佐と阿波を結ぶ意味が含まれている。

馬路村文化推進協議会では、本年度文化祭(文化展)を、十一月二十五日(土)二十六日(日)馬路を会場に行うことを決定しました。村民総参加による文化の祭典となるよう、皆様のご協力をお願いします。

(11月25日 26日)

本年の文化祭(文化展)は

11月 6月
1日～2日＝魚梁瀬地区春季バレーボール大会
5日＝社会教育委員会・文化財調査委員会・馬路公民館運営
6日＝菊作り講習会(魚梁瀬)
3日＝体育指導委員会
9日＝社会教育委員会・魚梁瀬民館運営審議委員会(馬路)
24日＝小石川大木屋線完工祝賀会
26日＝文化推進協議会
27日～30日＝六月定期議会
7月
22日＝魚梁瀬地区納涼祭
23日＝村内子供会ソフトボール大会
会(魚梁瀬)

六月定期議会において、水道条例の一部が改正され

従来は毎月各家庭のメータ器を検針し水道料金を徴収していましたが、八月分から二ヶ月

分をまとめて徴収することに改められました。

今まで毎月ごとに納めていた料金を二ヶ月に一回納めることに改ま

ります。

徴収月は、毎寄数月の末に検針し翌月の偶数月に納付していただけになります。

これは水道会計の経費の節減と事務の合理化のため改止するものでありますので加入者の方々のご理解とご協力を、お願いします。

なお、改正是伴ない八月分以降水道料金納期等は次のようになります。

八月と九月分を十月に、十月と十一月分を十二月に、十二月と正月分を三月に、二月と三月分を四月に、納付することになります。



水道料金が2カ月 納付にかわります

● ● ● 8月分から ● ● ●

12月＝尾谷利晴氏藍綬褒章受章祝賀会

13日＝フォーケダンス教室(馬路)
賀会

4日＝巡回スポーツ教室(魚梁瀬)
民謡・フォーケダンス

5日＝馬路地区職域卓球大会

15日＝青年のつどい(馬路)
18日＝村内一斉清掃

6日＝村内教員交歓会
16日＝安芸郡市「青年のバス」
(淡路島国立青年の家)

21日～23日＝馬路地区部落対抗バレーボール大会

18日＝巡回スポーツ教室(馬路)
民謡・フォーケダンス

24日＝小石川大木屋線完工祝賀会
26日＝文化推進協議会

21日＝馬路地区対抗ソフトボール大会開幕

23日＝魚梁瀬地区納涼祭
23日＝村内子供会ソフトボール大会

会(魚梁瀬)

つた」という岡田熊一さん（数え七十一歳）を探しあて、「鈴木主人」「松前殿様」らを独特のシン

まわしと美声で歌つて貰い、テープに集録。

踊りは、大野滝代さん（九十二歳）と甫木山絹治さん（七十二歳）

を先生に、婦人会支部長ら十数名が懸命に練習。

婦人会は、あと数回、大野さんらに教えてもらい、秋の敬老会か、村文化祭には村民に披露したいとがんばっております。

なお、教委では、他に青年達に「盆の舞い」など、今はとだえている神祭の催しなども復活させようと計画しています。



(大野さんの指導を受け練習風景)

郷土芸能を受けつゞう “手踊り”復活を

古老人の指導で伝承会

伝統郷土芸能は、ほとんど絶無に近いなかで、わずかに古老達の記憶にある「手踊り」を復活し伝承しようと、教育委員会と文化財調査委員会が、馬路婦人会に働きかけ、このほど第一回目の練習会をもちました。

この手踊りは、“よい手”とも呼

ようやく「歌い手」に「母に習



(今歌い手岡田さん)



藍綬褒章おめでとう

尾谷 利晴さん

(現議会議長)

らゆる分野において卓絶した功績を挙げられました。



本年春の褒章受章者は県下で六

名が選ばれ、尾谷利晴さん（現議

会議長）が、長年地方自治に功績があつたとして藍綬褒章を受章し

ました。

尾谷議長は、昭和十四年村書記

として奉職以来、収入役、助役、教育長と要職を歴任。この間数多

くの村行政上の難局に対処、歴代首長を支えて、地域の総合開発、住民福祉の向上、教育の振興等あ

協同組合の役員として農林業の振興に尽した功績も高く評価されており、村内外から益々のご活躍が期待されています。

なお、六月十二日には、県知事代理、高知當林局長、隣接町村長議長ら村内外から百五十名の参加で、盛大に祝賀会が催されました。

馬路老人クラブ（会長笹岡武治会員一五〇人）魚梁瀬老人クラブ（会長 山崎公好 会員五〇人）

は本年度から高知県が推進している老人社会奉仕活動特別推進事業（老人と子供をつなぐ花いっぱい活動）の一環として馬路老人クラブでは、六月三日馬路橋両たもとに約30m²を会員三〇名が参加し汗を流しました。

魚梁瀬老人クラブでは六月二十九日魚梁瀬集会所約15m²会員二十名の参加のもとに実施しました。両老人クラブ共、サルビア、ホーリンカ、コスマス等、十種類程度の草花の種子をまきました。

この種子が大きく育ち、立派な花が咲く様にと期待しています。



道標

=26=

部落にやまつた考え方

トロコーマ患者の多い町。
○失業者が多く生活保護世帯の
多い町

「まだあります、いかがです

か。赤まるでかこまれた町、区域

は市内のなんという町でどんな区
域でしたか。みると市内の七カ

所の部落だけに七重八重のまるが
赤くしらされていました。い

なり手もち無沙汰げにしていた

消防長がいました。

「わたしのうけもちはあてはま
りませんね。うちは火事とさえみ
れば、どここの区別なくかけつ
けていますから。いや消防長に
来てもらつたのはそこですよ。な
るほど火事が発生したら消防車は
走るでしようが、京都市内で消防
車がはいれない町はどこでしよう
か。まるでかこんでください。」

けつきよく、市内の部落だけが赤
まるでかこまれました。これで消
防長だけでなく、市長はじめ各部
長も「なるほどー、」とうなずか
ないではいられませんでした。そ
こで部落の人びとの側から「これ
らの部落の住民も市民ですね。市
民であれば、京都市民として平等
に行政サービスをうける権利があ
るはずですね。ところが、事実こ
のように部落はべつだとして、ほ
つたらかしにしておくことは差別
ですね。公平、平等な行政なら、

たそのために、市民である部落の
人びとが人間としての幸福と市民
としての権利をうばわれていた。

「それが差別なのだと、う
思います。」市長は深々と頭をさ
げました。いならぶ各部長たちも、
あらためていくえにも赤まるのつ
いた白地図に目をみはるのでした。

このオールロマンス事件をきっかけ
に、解放運動はきわだつて具体
的にすすめられ、このなかから解
放の理論がさらに発展しました。

また行政の方でも、これによつ
て同和行政のすすめ方を学びとる
ようになつたのでした。

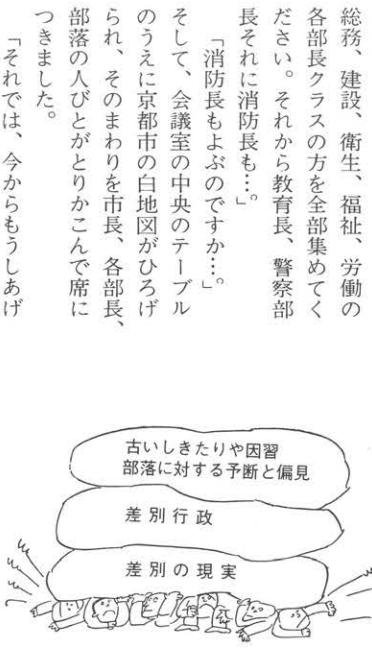
そして昭和三十五年、部落解放
同盟第十五回全国大会では、部落
の解放なくして民主主義社会の実
現はありえないとして、現在の綱
領が定められました。

千年の都、京都：だれもがごば
んの目に美しく整頓された
ふみいれようものなら消防車など
ぜんぜんはいることはできず、家
と家の間の空地や小さな路地に
は共同便所の悪臭がたちこめ、そ
の非衛生をおどろくほどでした。
S部落のちかくを、京都で名高い
鴨川がしづかに流れていますが、
ひとたび大雨が降るとたちまちに
して部落を水びたしにしました。
筆者はこのような状況をくぐり
と無責任に書きなげたのでした。
部落の人びとの代表である部落解
放全国委員会はこの雑誌を京都市
長につきつけました。

「これはけしからん、さっそく
この職員をやめさせます。」

「いや市長さん、わたしたちはこ
れを書いた職員をやめさせようと
抗議しにきたのではありませんよ。
むしろこの筆者はあなたの差別市
政を正直にのままに書いてい
るとき思つてくらいで、ほんとう
の差別者は市長さん、あなたです
よ。だから抗議にきたのですよ。」

「えつ……、とんでもない、わた
「それでは、今からもうしあげ



- 下水道がとおつていない区域。
- 各戸に便所がなく共同でつかつてている町。
- 市内での家庭に専用水道のほとんどない町。
- 不良住宅がたてこんでいる区域。
- 非行少年がたくさんでている町。
- 街燈がなく、舗装していない街路の町。

部落の人を差別したことなどいちど
もないし、むしろ部落の人とはひ
じょうに懇意におつきあいしてい
るくらいです」、「市長さん。わた
したちはあなた個人の主観的な差
別性をとやかくいいにきたのでは
ありません。あなたを行政の執行
者である市長として、つまりあなた
があざかっている京都市政が部
落差別をしていることを指摘して
いるのです」。

「市の行政が……差別してい
る?……よくわかりませんが、市
の行政はぜつたいに公平に市民へ
サービスしていると思うのですが。」

「そうですか。それでは、じつ
さいに差別行政があるかないか、
具体的に話しあいましょう。まず
総務、建設、衛生、福祉、労働の
各部長クラスの方を全部集めてく
ださい。それから教育長、警察部
長それに消防長も……。」

「消防長もよぶのですか?」

そして、会議室の中央のテーブル
のうえに京都市の白地図がひろげ
られ、そのままわりを市長、各部長、
部落の人びとがとりかこんで席に
つきました。

「それでは、今からもうしあげ

広場

H・K（相名）

流転（三）

今年も水の精たちが、川原を駆わ
している。川漁を夏の楽しみとす
る彼等のためには、六月一日の友
掛け解禁は待ちに待つ子供の遠足

のようなものだろう。
鮎の持つ繩張り習性をたくみに利
用したこの漁法は段々と禁が解か
れる「しゃくり」、「金突」にくら
べ、釣りと並び、最も受動的で動
きの少ない漁法である。

そのせいか早朝から川瀬に立つ姿
を見れば、比較的高令者の方を
多く見かける。ここぞと思うポイ
ントに、オトリ鮎を、指向に向ける
背にはなかなかどうして日頃の腰
にも筋が一本通っている。昨年の
農作業にも使つたであろう土色の
編笠を目深にかぶり半袖の野良着
からは陽に焼けた老いて力強い腕
が伸び、テグス糸を伝い鮎の動き
を伝えるサオをしっかりと支えて
いる。

ひざまでまだ冷たい水に洗われ長
サオを伸ばしているそのバランス
を保つ為にか少し上体が後方にさ
えそつてている。

やがて、この姿も川の静寂をやぶ
る投網、金突きの解禁に伴ない徐
々に見かけなくなるが、この一幅
の絵になる姿は来年もここに立つ
に違いないことを思はせている。

その過去の怨みも知らぬ顔に緑の
樹木が茂っているが、惨酷をとど
めた当時の写真展や数々の遺品な
どから、三十二年前、ブルトニユ
ーム原爆で想像を絶する焦熱地獄
と化した脅威の跡を人々しく感じ
た。

太平洋戦争で日本軍もまた比島で
犯した現地人民に対する暴行は、
大東亜共栄圏の虚偽を白日のもと
に、さらしたといわれている。

太平洋戦争は真珠湾攻撃に始ま
り、原爆の報復を受けて終った。

戦争という苛酷な運命を、ぐぐつ
て戦禍に散つた人間流転の姿がこ
こにもみられる。

太平洋戦争は真珠湾攻撃に始ま
り、原爆の報復を受けて終った。

廣島、長崎と合せて瞬間に三
十数万の生命が奪い去られた。

「その多くは日本の戦力とは何の
関係もない市民であり、それは歴

史上の戦争常識を、こえた人類へ
の犯罪である」

とも批判されている。

今年の三月御神火の国九州を訪れ
た。原爆の長崎では被爆による数
々の遺品が展示されていた。

そこには人間以上のもの……目に

みえない神秘のベールにつつまれ

た厳密な天意（天の意志）が秘め
られてはいないだろうか。

一九六七年七月アポロ十一号は月

面に軟着陸して歴史的な人類初の
足跡をこした。

一九七六年七月バイキング一号は
火星に着陸した。月と火星いすれ
も動植物等の生物の存在はなく索
寛としたもので神話やロマンは、
しなければならないだろう。逆

に過ぎないだろう。

なだれのごとく崩れ去った。

宇宙科学の業績は歴史の上に一つ

の輝かしい金字塔をうちたてた。

しかし宇宙の無限のひろがりと質

量そのスケールからいえば、宇宙

科学もまた冰山の一角を、かすめ

に過ぎないだろう。

未来にはばたけ

あれから一年が、あつと今まで
に過ぎ去った。現在幸いにして遭
遇の大将ぶりを發揮している。

児の美香と純は、元気で明るく毎

日を過しております弟の純は大いに餓

鬼大将ぶりを發揮している。

これも、ひとえに諸先生方、地域

の皆様方の暖かい御愛顧のたまも

のと感謝しております。過ぎ去つ

た哀しい思い出は、そつと心のか

たすみにしまつておくがよい。

頑張つて勉強し体をきたえ健康で、

いろんな知識を吸収し逆境をのり

越え、好転順境の未来をめざして、

はばたいていかねばならない。

保護者の父親も子供のビジョン、

（未来像）に思いをめぐらし、一

層の慈しみと努力をもつて成人さ

せねばなるまい。世界には、この

子達以上に恵まれない星のもとに

生まれ、不仕合せな境涯にある子

等は数えられない程いる。

両親を交通事故などで失つて身寄

りもなく天涯孤独になつた者、ま

た生れつきの不具者とか天災や人

災、病気によつて廃人同様になつ

た者もたくさんいる。母親に逝か

れた悲しい体験は、それは満たさ

れないものがあろう。然し五体満

足で健康なだけでも運命の十字架

を背負つた前者にくらべれば、は

るかに恵まれていると思つて我慢

しなければ、ならないだろう。逆

境から立ちあがつた米国のヘレン
ケラー女史は、盲、聾、啞の三重
苦とたたかい、ハーバード大学を
卒業するに至つた。

彼女は主として盲人の福祉につく
し、身体障害者の人生に明るい光
を、かかけた。

発明王、エジソンは人世に栄光の

輝かしい永遠不滅の偉大な火を灯

した。彼の高度な技術的思想が生

んだ物質文明は精神文明にも、う

るおいを与えた。精彩を放つた一

〇九七種類に及ぶ世界的な数多く

の発明と工夫は近代科学の根幹基

礎をなし、文化の推進に大きく寄

与しその原動力となつてゐる。

彼女の没後甥に聞くところによると、
「千賀子が発病で寝込んだ時、

先祖の靈がみえると、いうので御

祈祷をしてもらつた事がある」と

いう。そして私のみたあの悪夢は、

何を意味したものだろうか。

素人独身の夢判断で、もし靈の世

界とか神祕の世界が存在すると仮

定するならば、あのベットを囲ん

だ夢幻の人の姿は、先祖の靈が心

配して、なにかを暗示したもので

教育の窓

馬路中初優勝

安芸都市夏季大会

野球の部

安芸都市中学夏季体育大会は六月二十九日から二日間、郡下各地で各種目に分かれ開催されました。野球の部は安芸市営球場他で十六チームが参加、馬路中は一回戦安田中に一対〇、二回戦吉良川中に四対〇、三回戦（準決勝）室

戸岬中に四対一で、決勝は室戸中を一対〇で破り、堂々初優勝すると共に、県体への出場権を得、今後の活躍が期待されています。

なお、馬路中は、六月九日行われた中芸地区大会でも優勝しております。

フトボール大会は、七月二十八日、安芸郡市の代表チーム（市は二チーム・町村は一チーム）を集め、安芸市営補助グランド等で開催されました。

馬路子供会は、初戦から日頃の練習成果を十分發揮して、奈半利を八対一、安田を十二対九、準決勝で野根を十四対〇（五回コールド）決勝戦で三高を十二対一で下し、初優勝を成し遂げました。

昨年は準優勝で、本年も何んとか一勝はという意気込みで参加しましたが、父兄多数の声援を受け、子供達も生き生きとプレーに励み、親子で勝ち取った初優勝でした。

なお、八月二十日、高知市で行わる県中央大会への出場も得、活躍が期待されます。

馬路子供会も初優勝

安芸都市子供会ソフトボール大会

8月20日県大会へ

子供達の健全な心身を培うこと

も、相互の理解と親睦をはかる

を目的とした、安芸郡社会福祉事務所等の主催による地域子供会ソ



第6回馬路村教育交歓会

子供達の幸せ

教育の向上を願って

一年に一度馬路村内小中学校の

（前頁からつづく）

教職員が一堂に集まって日々の教育について、実践上、指導上の悩み、問題点を出し合い児童生徒のよりよき方向への導きとするため行なっていますが、本年は馬路小中学校、公民館を会場にして行なわれました。

最初に馬路小中学校の先生が、公開授業を一時間行ない、それぞれ参観した後、小学校は低中高の三部会に分れ授業についての意見交換や春に行なった修学旅行、社会見学（一、二年は安芸、三、四年は高知）の反省会及び小学校は五十五年度から行われる新教育課程の移行措置について研究協議を行った。

中学校部会では「無気力な子どもをどう育てていくべきか」というテーマを共通にして実状にそつた実践経験を出し合うなど真剣な討論がなされた。

最後に公民館に移動しシーズンを迎える水の事故から子どもを守るために、馬路中松本校長を講師に人工呼吸の実技講習を全員が受けた。

この子等の未来は長い。あせらず不斬の努力で汲めどもつきぬ學習の世界に大きくはばたき躍進をみてもらいたい。

人生至るところ青山在り、そして昏に歌を心に太陽を

は水難事故だけでなく日常生活の中にもそのコツの必要性を改めて感じ「まこと」とうなずき声を思わず発つする人も……。松本講師の名調子に思わず笑いの声も……免に角和氣藹々とした有意義な半日研修でした。

（人工呼吸を勉強する先生達）

は、なかろうか。黒色の車と、坊さんの黒い法衣、そして白装束の運転手この白と黒の、コントラストな、イメージは、計の異変を意味し、また車の運転手は、脳下の医師では、なかつたろうか。

過去から現在へ、そして未来永劫につながる生命の神秘、大自然の厳粛な攝理の前には、人間は、なすべもないが、日本人の平均寿命も昔からいえば、ぐんと伸びてきました。然し涯しない広大な宇宙……天地の永遠不滅の実在、郷土の安田川の流れ、大河川ナイル、アマゾンの悠久の流れからすれば光にもて一明の旅人の姿である。故人の冥福を祈り遺兒も願うか。人間の一生は不滅する星の瞬間の人間性にめざめた人間として成長してもらいたいものである。

この子等の未来は長い。あせらず不斷の努力で汲めどもつきぬ學習の世界に大きくはばたき躍進をみせてもらいたい。

人生至るところ青山在り、そして昏に歌を心に太陽を

は水難事故だけでなく日常生活の中にもそのコツの必要性を改めてつて……それにして幼い心をバラ色に染め、まぶたの裏に灼きついたやさしかった母の面影は、生涯この子達の胸中から、はなれることは、ないだろう。（終）

民具の収集について(三)

II 馬路村文化財調査委員会

前回、第七十号では、生産、生業に關係のある民具を紹介しました。

第七十一号では「交通・運輸・通信」「交易」に關係のあるものを紹介します。

三 交通・運輸・通信

(A) 交通・運搬施設
道標類、橋、木馬

(B) 運搬具
背負い具類、もっこ、てんびん棒、牛馬具

(C) 車、そり類
車類、かご、木馬類
(D) 交通旅行用具



(⇒ 森林軌道時代の機関車)

(E) 通信施設、用具
杖、胴まき、鍵箱、行李、弁当用具など
鐘、太鼓、ぼら貝、拍子木
旗、文箱、筆記用具など

四 交易

(A) 商業用具

帳簿類、錢箱、財布、通帳
質札など

(B) 計算、計量用具
物差類、ます、はかり、そろばん、桶など

(C) 鑑札、ちらし類
いろいろな鑑札、のれん
看板など

(D) 証書、手形、藩札類
証文、手形、切手、貨幣、紙幣(むかしのお金)

(E) 印章類
領収判、焼印、認可印、商票など

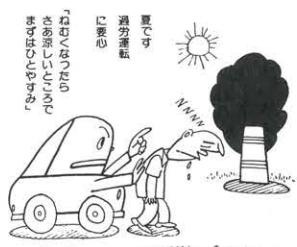
次号では「社会生活」「信仰」について載せます。

事故を呼ぶ
酒が疲労が
スピードが

花火の事故を防止する十カ条を

花火遊びはよく注意して

日本煙火協会がアドバイス



列挙してみると—

①花火に書いてある使用法や注意書を必ず読む②遊ぶ場所に気をつける③子供だけで遊ばず必ず大人と一緒に④風の強い時はやめる⑤必ず水を用意する⑥一度にたくさん花火をつけない⑦一度火をつけたら、たとえ火が消えたようでも近寄ったり、筒の上に顔を出さない⑧花火は絶対にポケットの中に入れない⑨花火をぼぐしたり、

自主的に安全基準を設けて安全検査を行い、合格品には、安全花火を意味する『SFマーク』(セーフティ・ファイアーマーク) (セーフティ・ファイアーマーク) を張っている。

伝説散歩 彦藏ばなし

● ● ● 木を切ります ● ● ●

あるとき、藩からお留山改役人が、馬路村へやってきた。そこで庄屋は彦藏を呼んで、役人のお供をするよう命じた。山を歩きながら、役人がいう。

「彦藏、おまえは人を、ようだますいうが、今日はひとつ、このわしをだましてみんか」「めつそうもない、お役人さま、わたしや、お役人さまは、ようだましません」

彦藏が真顔で首をふるので、役人はますます面白がって、「まあ、そう言わんと、是非やってみい、だませ」と、しつこくいう。あんまりいうので彦藏が、「ほんなら、ひとつやってみましようか。ちょっと道具に杖がりますき、木を切ります。その小刀を貸してつかさいませ」

と頼んだ。役人が腰の小刀を渡すと彦藏は傍の茂みの中へ入つていった。そして、それっきり帰つてこない。それもそのはず、役人の小刀をだましとつた彦藏は、茂みのなかをぬけてとつくなが家へ帰つていたそうな。

「芸西伝説散歩」より転載